

〔算数〕小1

★先生方へ～解答欄の 1 ～ 12 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1

5	1	2	8
3	4	3	6
3	1	6	2
5	9	5	7

(すべてできてせいはい)  
(数と計算：知識・技能)

2 (1) 2

4

(数と計算：知識・技能)

(2) 3

6

(数と計算：知識・技能)

【学習指導に当たって】

一つの数をほかの数と関係付けて考えることができるようにするために、10のおはじきを4個と6個に分けて、ものの集まりを組み合わせたものとしてみたり、4を10-6と表したりするなどの場面を取り入れて指導することが大切です。

3

4

1 + 7

(数と計算：知識・技能)

5

5 + 5

(数と計算：知識・技能)

6

7 + 2

(数と計算：知識・技能)

4 (1) まえから 3びきめ

7

まえ



うしろ

(数と計算：知識・技能)

(2) みぎから 4ほんまで

8

ひだり



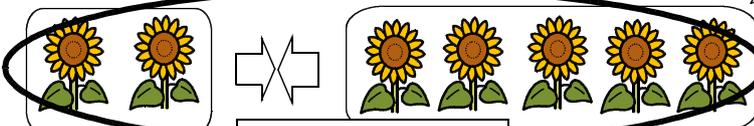
みぎ

(数と計算：知識・技能)

5 (1)

【え】

(れい)



ぜんぶで 7ほん

【え】や【ず】に何も書いていなくても、式、答えがあていれば正答です。

9

しき

2 + 5

(数と計算：思考・判断・表現)

10

こたえ

7ほん

(数と計算：知識・技能)

【学習指導に当たって】

具体的な場面に結び付けて表現できるようにするために、加法の式で表される場面を探して言葉や絵、図等を用いて表したり、実生活で探した数量を式に表したりする場面を取り入れて指導することが大切です。

(2)

【ず】

(れい)

はじめに3にん 6にんくると

11

しき

3 + 6

(数と計算：思考・判断・表現)

12

こたえ

9にん

(数と計算：知識・技能)

【学習指導に当たって】

加法の意味を具体的に捉えることができるようにするために、合併や増加など、加法が用いられる日常の場面を取り上げて指導することが大切です。

〔算数〕 小2 組 番 名前

★先生方へ～解答欄の 1 ～ 10 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1

(1) 1 (れい)  
6は、一のくらいに入る <sup>かず</sup> 数です。6が 十のくらいに入ると、60を たすことにな るからです。

(数と計算：思考・判断・表現)

(2) 2 20 さつ

(数と計算：知識・技能)

6が一の位に入ることを説明していれば正答です。

2

(1) 3 1

(数と計算：知識・技能)

4 4 - 2

(数と計算：知識・技能)

【学習指導に当たって】  
加法や減法の筆算は、具体物や図などを用いて、計算の仕方を考えさせる場面を取り入れて指導することが大切です。

(2) 5

(れい)  
さくらんぼが 57こ あります。そのうち、29こ <sup>た</sup> 食べると、のこりは 何こに なりますか。

(数と計算：思考・判断・表現)

3

(1) 6 18 cm 5 mm

(測定：知識・技能)

(2) 7 17 cm 5 mm

(測定：思考・判断・表現)

4

【学習指導に当たって】

(1) 身の回りにある数量を簡単な表やグラフに分類整理することができるようにするために、このような表やグラフから、数が最も多いものなどの特徴を読み取る活動を取り入れて指導することが大切です。

(やさいの 絵)

○				
○	○			
○	○	○		
○	○	○	○	
○	○	○	○	
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
なす	8 とうもろこし	トマト	9 にんじん	かぼちゃ

(データの活用：知識・技能)

(2) こたえ

10

トマト の絵が 3 まい多い。

(データの活用：思考・判断・表現)

〔算数〕小3

★先生方へ～解答欄の1～12は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1

- (1) 1  (2) 2  (3) 3

(数と計算：知識・技能) (数と計算：知識・技能) (数と計算：知識・技能)

【学習指導に当たって】  
児童が主体的に調べられるようにするために、いくつかの具体的な計算から乗法の法則を見いださせる活動を取り入れて指導することが大切です。

2

- 4  5

(数と計算：知識・技能) (数と計算：知識・技能)

平成24年度全国学力・学習状況調査算数B「1」の類似問題です。  
【学習指導に当たって】  
複数の処理方法から導かれる結果を比較し、一方が合理的である理由を数学的に表現する学習活動を取り入れて指導することが大切です。

3

- (1) 6  (2) 7

(数と計算：思考・判断・表現) (数と計算：思考・判断・表現)

4

- 8

(数と計算：思考・判断・表現)

【学習指導に当たって】  
計算の過程を振り返って間違いがないか確かめたり、間違いを見付けて説明したりする活動を取り入れて指導することが大切です。

5

- (1) 9  (2) 10

(測定：知識・技能) (測定：思考・判断・表現)

平成21年度全国学力・学習状況調査算数B「3(1)」の類似問題です。  
【学習指導に当たって】  
目的に応じて与えられた条件を整理し、筋道を立てて考えられるようにするために、条件に当てはまらない時刻を除外したり、条件に当てはまる時刻を取り出したりする場面を取り入れて指導することが大切です。

6

- 11

(数と計算：思考・判断・表現)

7

- 12

(数と計算：思考・判断・表現)

【学習指導に当たって】  
除法の意味を確実に理解させるために、問題づくりを通して除法が用いられる具体的な場合（包含除及び等分除）を取り上げたり、理解が不十分な児童に対しておはじきなどの具体物や身の回りのものを取り扱ったりするなどの活動を取り入れて指導することが大切です。

〔算数〕小4

★先生方へ～解答欄の 1 ～ 13 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1

(1)

1 2

2 0

3 4

(数と計算：思考・判断・表現)

【学習指導に当たって】

児童が除法の計算の仕方を主体的に考えることができるようにするために、第3学年で学習した商の見当の付け方を活用したり、除法には乗法や減法などの計算が使われていることに着目したりする場面を取り入れて指導することが大切です。

(2)

4 (正しい説明) ウ

(数と計算：思考・判断・表現)

5 (筆算の答え) ケ

(数と計算：知識・技能)

2

(1)

6 エ

(数と計算：知識・技能)

(2)

7 イ

(数と計算：思考・判断・表現)

【学習指導に当たって】

「120kg」「3倍」という言葉を用いるという条件を満たしているか確認させたり、誤答例を示し、不十分な点に気付かせたりする活動を取り入れて指導することが大切です。

3

(1)

8 ア

(データの活用：知識・技能)

平成22年度全国学力・学習状況調査算数A「9(2)」の類似問題です。

【学習指導に当たって】

折れ線グラフから変化の特徴を読み取ることができるようにするために、各部分のグラフの傾きから数量の増減の様子を捉える活動を取り入れて指導することが大切です。

(2)

9 24

度 (データの活用：知識・技能)

(3)

10 エ

(データの活用：思考・判断・表現)

4

11 30

度

12 180

度

13 210

度

平成27年度全国学力・学習状況調査算数A「4(2)」の類似問題です。

【学習指導に当たって】

180°より大きな角を求めるために、補角を用いた測定方法を判断する学習活動を取り入れて指導することが大切です。

(図形：思考・判断・表現)

〔算数〕小5

★先生方へ～解答欄の 1 ～ 10 は、の設問番号に対応しています。

1

- (1) 1 60の場所  
イ  
(数と計算：知識・技能)
- 2 0.4の場所  
エ  
(数と計算：知識・技能)
- 3 □の場所  
ア  
(数と計算：知識・技能)

- (2) 4 2  
(数と計算：知識・技能)

平成29年度全国学力・学習状況調査算数A「1」の類似問題です。  
【学習指導に当たって】  
「問題場面における数量の関係を理解する」「数量の関係を図や数直線などに表す」「図や数直線などを基に立式したり計算の意味を確認したりする」といった一連の活動を繰り返し設定することが大切です。

2

- (1) 5 ウ  
(数と計算：思考・判断・表現)
- (2) 6 エ  
(数と計算：思考・判断・表現)

3

- (1) 7 エ  
(図形：思考・判断・表現)

- (2) 8 イ  
(図形：思考・判断・表現)

【学習指導に当たって】  
複数の考え方を取り扱う際には、一つの方法を学級の児童全員が理解できた後に、他の考え方について考えさせることが大切です。

4

- (1) 9 4  
(数と計算：知識・技能)

【学習指導に当たって】  
小数倍の意味の理解において、基準量、比較量、割合の関係を捉える場面ですまずく児童が多いことから、小数倍の大きさを具体的に捉えられるようにするために、線分図などを繰り返し用いて考えさせることが大切です。

- (2) 10 約21cm  
(数と計算：思考・判断・表現)

〔算数〕小6

★先生方へ～解答欄の 1 ～ 11 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1

(1) 1

ウ

(数と計算：思考・判断・表現)

(2) 2

エ

(数と計算：思考・判断・表現)

【学習指導に当たって】

分数の乗法及び除法については、児童が計算の仕方を工夫して考え出せるようにするために、分数の意味や表現に着目したり、乗法及び除法に関して成り立つ性質に着目したりできるように指導することが大切です。

(3) 3

(答え)  
ア、エ

(数と計算：知識・技能)

4

(わけ)  
3

(数と計算：思考・判断・表現)

2

(1) 5

1 2

(変化と関係：知識・技能)

(2) 6

イ、エ

(完全解答)

(変化と関係：思考・判断・表現)

(3) 7

1 3 c m

(変化と関係：知識・技能)

(4) 8

イ

(変化と関係：思考・判断・表現)

3

(1) 9

2、4

(図形：知識・技能)

(2) 10

方法  
エ

(図形：思考・判断・表現)

11

わけ  
2

(図形：思考・判断・表現)